

# 平成28年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

当園ではこの度、平成28年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価、保護者アンケートを実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

身体も心ものびのびと過ごせる、情操と知育を総合させた教育を目指しています。  
きちんとした価値観やモラル心を身につけること。それが心身を健やかに成長させ、子どもの未来を創る原動力となります。

保育をする上では、「徳育、知育、体育、国際化（英語教育）」の4つの理念を大切にし、その中で息づく「こころ」を育てる教育を実践しております。

きちんとしたモラルの心を身につけ、親孝行で将来社会の役に立つ人として育てていくよう、教諭、講師、職員で力をあわせ、お子様たちの保育をすすめてまいります。

## II. 今年度の重点目標

- 教職員の資質向上
- 安全管理体制の充実
- 保護者対応

## III. 自己評価項目と取り組み状況

自己評価項目		取り組み内容	
1	教職員の資質向上	C	教職員のスキル向上のために、音楽や造形研修を取り入れた。目的意識を持って研修に挑み、学んだ手法を日常保育に活かしている。研修講師からヒントを学び、制作では知らない道具や材料を知る機会となっている。子どもたちが実践できる内容の研修が不十分であり、研修内容を工夫して選定する必要がある。様々な素材や技法を用いた実技研修を、今後も計画的に継続実施していく。各学年ごとでの実施や研修時間に配慮し、効率的なものとしていく。
		A	会議の進行を工夫して、ミーティングの目的や今後すべきことを全員が理解できた。担当者のみならず全体での意見交換が積極的に行われるように、会議の場ではより目的意識を持った参加を促している。行事ごとに反省会を行い、前回の反省を活かして行事をよりよいものに行っている。大きな行事の前には打ち合わせの時間を十分にとり、役割分担や準備を入念に行っていきたい。

# 平成28年度「学校評価結果報告書」

学校法人 嶋田学園  
鶴山台国際幼稚園

自己評価項目		取組み内容	
2	安全管理体制の充実	災害への意識を高めるための取組や避難訓練の回数や内容について検討する。	B 子どもたちの安全が最優先であることを念頭に置いて訓練ができています。実際に保育中に地震があったが落ち着いて行動できた。いざという時に迅速な行動をとるため、教職員間で役割を明確にして取り組んでいる。逃げ遅れがないかの確認を加えるなど、さらに精度の高いものにしていく。また、引き続き消防署との連携や防災ビデオを活用した取組みを続けて、子どもたちの防災意識を高める。訓練回数が少ないという意見があり、訓練内容とその頻度について園全体で再考の必要がある。
		遊具まわりに関する安全を徹底できる仕組みを検討する。	B 遊具遊びの際は職員がそれぞれ役割を分担して、一緒に遊びながらも周囲からの見守りを欠かさず、子どもたちのケガを防ぐ配慮を行っている。「事故が起きてからでは遅い」という意識を持ち、修繕及び注意を促す表示をするなどの方法で未然に事故の防止を図っていく。全体的に職員は事故例が多い鉄棒に注意を払い、事故防止に努めることができた。
3	保護者対応	保護者から頂いた意見や定期的な情報の発信によって信頼関係を築ける取組みを行う。	A 保護者が終わりの会の時間に子どもたちの様子を伺える体制を整えている。そのため職員は保護者と多くの関わりを持つ機会がある。学年だよりを情報発信するツールと位置づけて、普段の取組内容を詳しく伝えるように心掛けている。子どもたちの家庭での様子と連携をとるために、保護者との連絡回数や留意点を記録している。実施しているアンケートでの意見を反映し、保護者の要望に応じていきたい。

### 【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

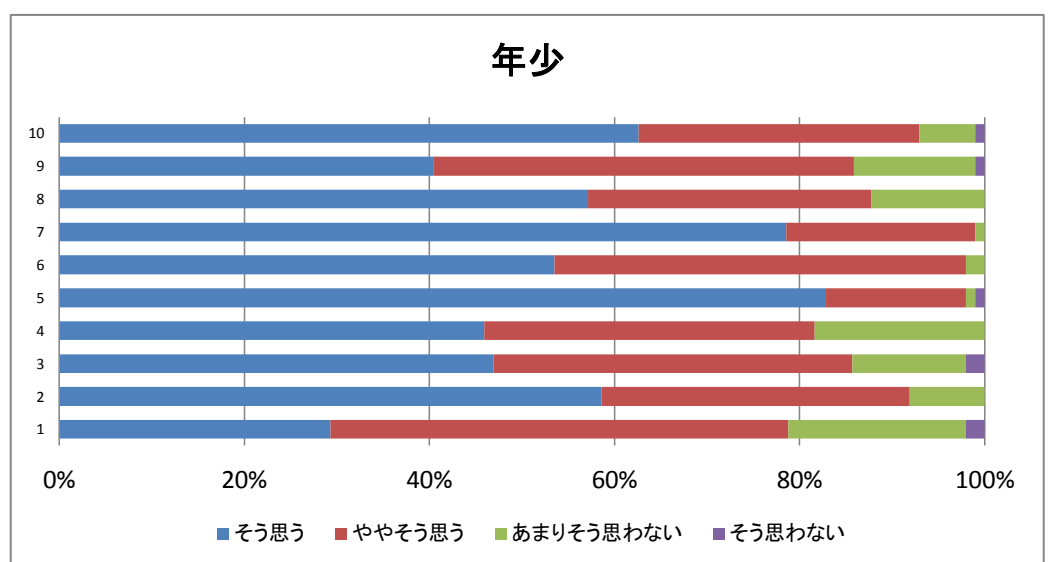
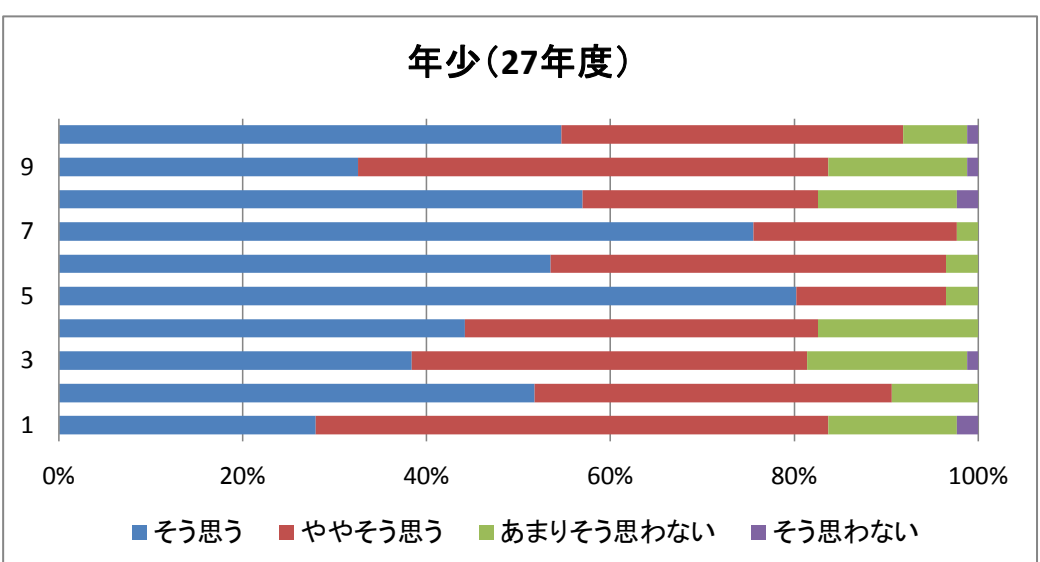
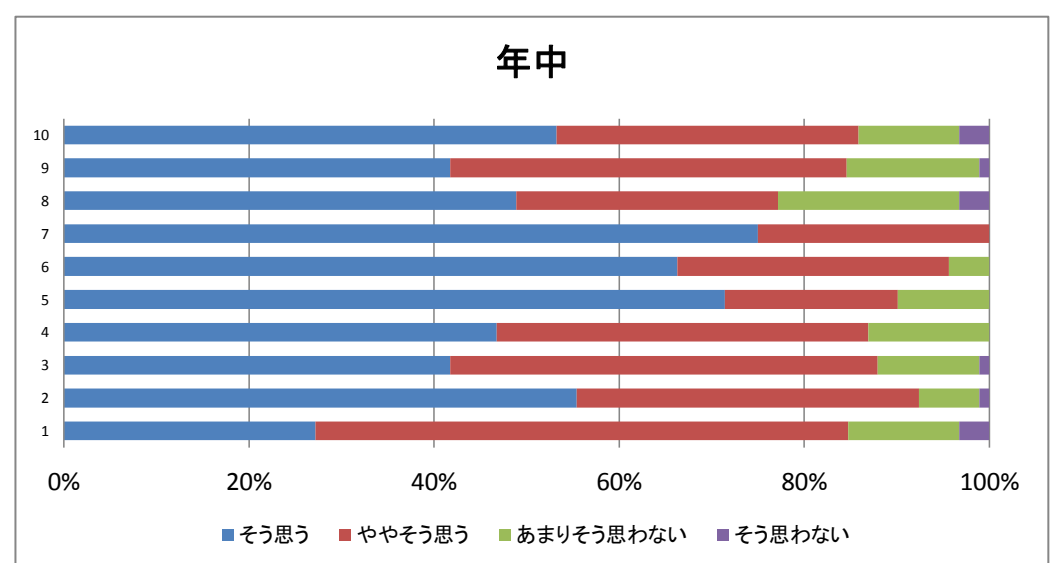
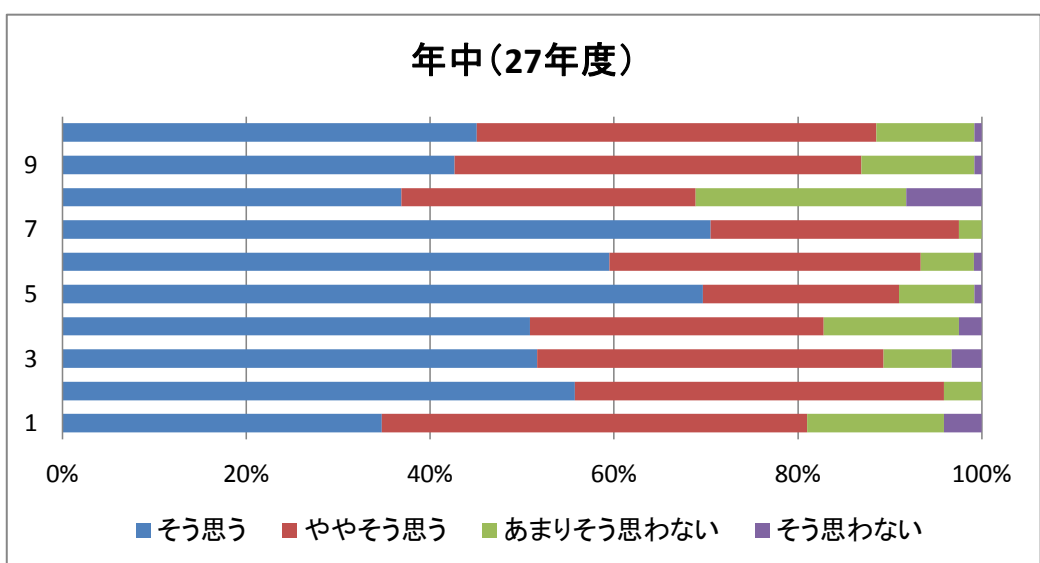
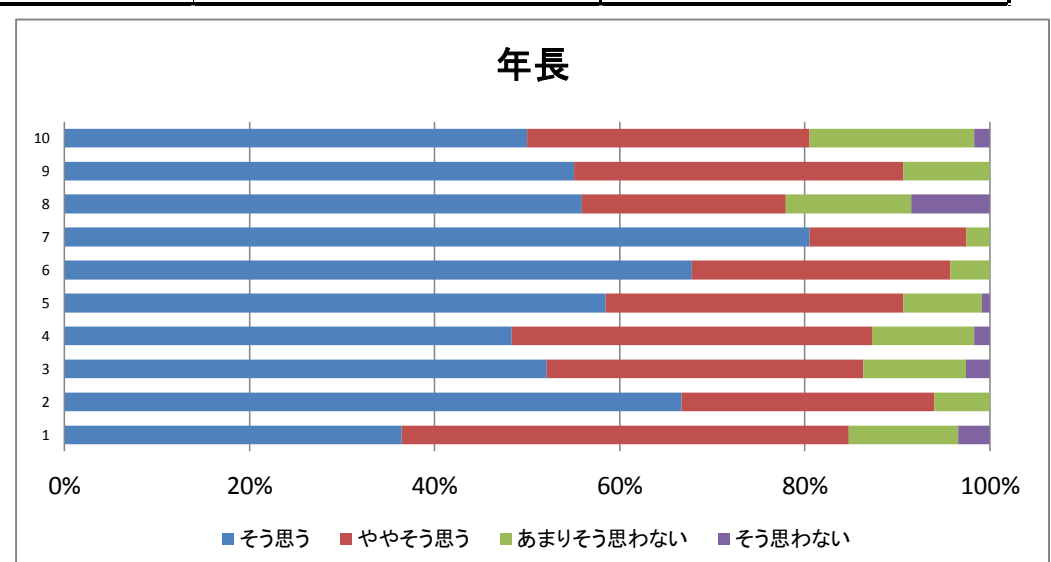
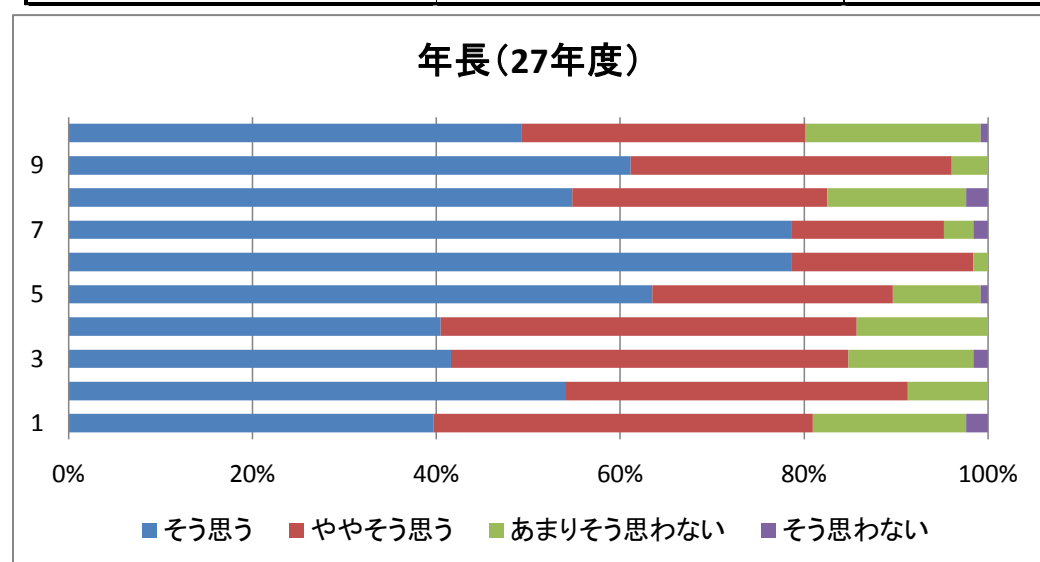
## IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	園内研修に加えて園外部の研修参加を促し、教職員が他の園の様子や業界情報を取り入れ研鑽に努める。
2	教職員間の連携強化	時間に制約があるため、会議体の見直しと事前準備を徹底し、質を高める。
3	安全管理体制の充実	避難訓練の回数やその方法・設定について再度検討する。
		子どもたちが安全に遊具を利用できる環境を整えるために、遊具の確認を定例化して行う。
4	園全体の発展	園全体の発展につなげるため、保護者アンケートの集約意見を教職員全体で考察する。

V. 保護者アンケートの結果

■アンケートの集計結果

質問1	質問2	質問3	質問4	質問5
お子さんは、誰にでも自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えることができますか？(ありがとうの言葉など)	お子さんは、感受性が豊かだと感じる時がありますか？	お子さんは、話を聞く時、相手の目を見て聞くことができますか？	お子さんは、お家で進んでお手伝いをすることができますか？	お子さんは、絵本に興味を持ち、読んでもらおうという姿勢が見られますか？
質問6	質問7	質問8	質問9	質問10
お子さんは、集団生活の基本(順番を守るなど)がきちんとできていますか？	お子さんは、体育活動(跳び箱、縄跳び、鉄棒、ボールなど)を楽しみにしていますか？	お子さんは、プール活動を楽しみにしていますか？	お子さんは、体育活動やプール活動を通じて、体が丈夫になったと思いますか？	お子さんは、英単語や英語の歌などに興味を示していますか？



## ■アンケート結果の考察(気付いた事・今後の課題など)

### ◇項目1

毎年同様の傾向が見られますが、年少から年長への成長の過程で、恥ずかしさや戸惑いを感じながらも誰にでも自分から言葉に出して、挨拶をし感謝する習慣が身に付きつつあると思われます。幼稚園では、身近な人に対してだけでなく、来客や近隣の方へのあいさつの指導もしています。ご家庭でも今後もさらにお子様の積極性を引き出せるよう、幼稚園と共に指導の徹底をお願いしたいと思います。

### ◇項目2

全学年で90%を超え、お子さまの感受性の豊かさを感じられているようです。大人では見過ごしがちなことも、ご家庭での日常と園生活の中で様々な事に美しい、楽しいと感じ、興味が感じられるような感性を育てていけるよう見守っていききたいと思います。

### ◇項目3

全体的に出来つつあると思います。恥ずかしい等お子さんの性格差、学年差はあるものの、幼稚園では先生の目を見て話す、聞く指導を今後も粘り強く徹底していききたいと思います。幼稚園では、子どもの視線を引き付ける工夫を取り入れて変化をもたせています。ご家庭でも普段の会話の際、お子さんの目を見て話す、聞く意識を持ってコミュニケーションをとって頂ければと思います。

### ◇項目4

幼稚園では、先生のお手伝いやお当番を通して、皆のために与えられた責任を果たすことで、やりがい、ほめられ感謝される喜びが体感できるように指導しています。家庭でもお手伝いをしてもらう機会を多くし、感謝の気持ちを十分に伝えていただくことで、人に喜んでもらい必要とされているとお子さんに感じてもらう機会が増えれば、さらに積極的な行動につながるかと思えます。

### ◇項目5

全学年で絵本に対するの非常に高い意識が感じられます。ただ、進級と共に興味の対象が多くなり、本に触れ合う機会の減少が懸念されます。当園子ども文庫の3千数百冊に及ぶ蔵書に触れ合う機会を今後もできるだけ多く持ち、テレビ等では得られない新たな知識や興味、そして感受性等を培っていただければ願っています。今後もさらに蔵書内容の吟味、充実を図っていきたく考えます。

### ◇項目6

全学年とも95%以上と非常に高い結果だと思えます。集団生活の中で基本ルールを守る大切さが身に付きつつあると思います。ご家庭、園での指導の賜物かと思われれます。その一方でわずかではあります、あまり思わないとの回答に対して、ほんの少数が全体の集団生活の基本を乱すこともあり得ますので、今後とも園でも家庭でも徹底した指導が必要と考えています。

### ◇項目7

全学年で97%以上と非常に高い結果が得られています。園目標の柱の一つである体育を通しての体力づくり、一輪車や鉄棒など目標に向かって繰り返し努力し、その過程での先生との一体感、そして達成する喜びを子ども達に感じてもらえる指導を今後も実践していきます。

### ◇項目8

全体にプール活動を楽しみにしているとの回答ですが、年中がやや低くなっています。進級の基準も明確な為、達成感が感じられるよりも、自身が思うように結果が出ないことも一つの要因かと思えます。今後ともプールが楽しみになるように、さらに挑戦意欲が継続できるよう工夫していきたく考えています。

### ◇項目9

特に年長で約90%の高い数値が得られています。年中、年少での実感は今一歩ですが、成長の過程であり3年間継続することで進級と共にきっと実感して頂けると確信しています。

### ◇項目10

全体に英語に対する興味が感じられます。英語での歌や手遊び、ゲーム等を通してネイティブ英語に触れることで、発音や身近な英単語等が身に付けられたいと思います。又、今年度より年長組はアルファベットを書く取り組みと自分の名前もローマ字で書けるなど、英語ノートを取り入れることで、自身に繋がれたいと思っています。

### ■その他ご意見等に対する所見・対応

通園バスの運転に対する不安について、散見された運転に対するご心配、ご意見につきましては真摯に受け止め、運転手及び添乗員に安全運転講習を今まで以上に実施し、今後も継続していきたいと考えております。

英語の本がもう少し多くあればいいなという意見について、英語教本の蔵書は現在100冊程あります。平成29年度より、英語絵本の貸し出しも行いますので、どうぞ楽しみになさってください。

## VI. 学校関係者の評価

安全対策について、地震の際でも慌てずに迅速な対応をとることができ、子どもの命を預かる現場としてしっかりと訓練されているので安心感があります。今後は様々な場所や時間を想定した避難訓練を行い、どのような場面にも対応できる体制を整えて欲しいと思います。外遊びに関しても職員同士の連携、保護者とのコミュニケーションを意識されており、保護者も安心して預けることができる環境ができていると思います。

教育についても、年長クラスの卒園時を見据えて、各学年にしっかりと目標が立てられており、小学校学習へのつながりの意識の高さを感じます。子ども同士のトラブルもマイナスに捉えるのではなく、モラルの心を育む大切なプロセスとして教育されています。

アンケートにつきましては園としての理念を大切にされてきた結果が反映されていると思います。保護者が期待する保育内容と先生方が行う保育内容にギャップが見られないのは保護者への細やかな情報発信(園だより等)により、信頼関係を築けているからだと判断できます。さらなる要望としては、安全管理マニュアルやバス送迎時の事故対応マニュアル等、様々な情報開示を期待しております。

以上